



平成 22 年 2 月 23 日

MFJ 公認競技主催者およびエントラント 各位

財団法人

日本モーターサイクルスポーツ協会
技術委員会

J-GP3とGP-MONO技術仕様 の変更に関するお知らせ

今年から名称変更されたJ-GP3の2ストローク車両のラム圧禁止に関する記載とGP-MONOクラス始動装置および車両重量について、国内競技規則発行後に変更となりましたのでご案内申し上げます。

1. J-GP3の2ストローク車両のラム圧に関する規則の変更

該当規則 : 付則7 GP フォーミュラ技術仕様 9-1-3-1 (p124)

規則発行後の改定: 二重線部分を削除し、アンダーライン部分を追加

9-1-3 エンジン

エンジンは2ストロークの原理で作動するもののみとする。

9-1-3-1 エンジンは自然吸気であってはならない。

ラム圧は禁止される。 エアーボックスは取り付けなくても良い。

~~エアーボックスを取り付ける場合には、エアーボックスの上部は開放とし、上端と隣接する部品（例えばフューエルタンク）との間には、40mm以上の隙間を最低100mmの区間で設けなければならない。走行可能な車両状態でその隙間を確認出来ること。~~

エアーボックスを取り付ける場合には、エアーボックスに40mm×100mm 相当以上の面積の開口穴を設けなければならない。

走行可能な車両状態でその開口穴が確認できること。

ラム圧に関する規則を変更し、運用基準は以下のとおりとする。

- (1) エアーボックスに40mm×100mm 相当以上の面積の開放穴によってラム圧のかからない大気開放になっていなければならない。
- (2) この開放穴は、走行中も足などでふさいではない。必ず走行中も確認できること。
- (3) フレッシュエアを取り入れるためのダクトは取り付けてもよい。



ノーマル形状



エアークリーナーBox 仮想面

例) 40×100mm相当面積の開口穴

エアーボックスを取り付ける場合には、40mm×100mm 相当以上の面積の開口穴を設けなければならない



2. GP-MONO始動装置と車両重量に関する規則の変更

GP125 の 2 ストローク車両のフレームや足回りパーツを使用して GP-MONO や J-GP3 クラスに移行しやすい環境を整えるため、始動装置およびそれに伴う車両重量の改定を行う。

1) 始動装置の撤廃

訂正箇所：付則 10 GP-MONO 技術仕様 2-7-2 (p167)

規則発行後の改定：二重線部分を削除し、アンダーライン部分の追加

2-7	以下については改造・変更が認められる。
2-7-2	始動装置（キックまたはエレクトリック・スターター）が取り付けられてなければならない。 始動装置は正常にエンジンを始動させることができなければならない。 ただし、キックアームは走行時邪魔ならないように固定すること。
	<u>始動装置の取り外し</u> <u>始動装置取り外しに伴うケース・カバー</u>

2) 車両重量の改定

訂正箇所：付則 10 GP-MONO 技術仕様 5-19-1 (p178)

規則発行後の改定：二重線部分を削除し、アンダーライン部分の追加

5-19	最低重量
5-19-1	最低重量は 8.5kg とする。 <u>最低重量 8.2kg とする。</u>

今回のリリース内容（国内競技規則書変更）は、2010 年 2 月 23 日より施行される。

以上